



【テーマ】

- 第1回 アウトプットから考える
- 第2回 デジタルとアナログの使い分け
- 第3回 内田のネタはどこから来るか
- 第4回 内田流知的生産の技術
～いたずらに情報は集めるな～
- 第5回 内田流知的生産の技術
～20の引き出し～

【コンセプト】

ポストン・コンサルティング・グループ(BCG)シニア・アドバイザーであり、早稲田大学ビジネススクール教授の内田和成氏は、発想がユニークで、人と違うものの見方をするとされています。このシリーズでは、その豊富な経験をもとに、内田流の思考方法や企業の戦略ケーススタディ、キャリア形成のヒント、リーダーシップなどについて解説していきます。第1回では「アウトプットから考える」、第2回では「デジタルとアナログの使い分け」、第3回では「内田のネタはどこからくるか」と題して発想の根源である情報のインプット方法を詳しく解説しその知的生産の秘密を探ります。第4回、第5回では、内田流知的生産の技術と題してお話します(この講座は第6回以降も継続してシリーズ化する予定です)
(講義時間合計5時間)

<参考図書>『プロの知的生産術』内田和成著 PHP研究所 (2011/11)

【講義資料より】

